

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2018年5月30日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向とヘルスケア機器セクターから成長株であるインテュイティブサージカル社の紹介、及び今後の当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

好調な企業業績を素直に好感

5月の米国株式市場は上昇しました(5月25日現在)。米中の貿易摩擦に関して両国が歩み寄る姿勢を示したことから、懸念により下落していた情報技術セクターが反発しました。また、宝飾品大手のティファニーやホームセンターのロウズなど、良好な業績を発表した小売株の上昇も指数を牽引しました。一方、電気通信サービスなどの金利敏感株は、長期金利の上昇が重石となり下落しました(図表1)。

医薬品とヘルスケア機器の明暗

図表2は、過去3年間のS&P500種指数と、S&P500ヘルスケア機器株指数及びS&P500医薬品株指数の推移です。いずれもヘルスケアセクターに属しますが、両者の株価リターンの乖離が大きくなっています。

理由は幾つか考えられますが、一つは米国における薬価の高騰があります。薬価への規制が強化され、製薬会社は以前のような値上げが難しくなっています。

一方、ヘルスケア機器の分野では、ロボットや3Dなどの最先端技術を用いた医療機器が急成長しています。これらの技術は患者の負担を軽減するため、入院日数が短縮化されます。このため、長期的には医療費を抑制する効果が期待できます。

ヘルスケア機器セクター銘柄紹介

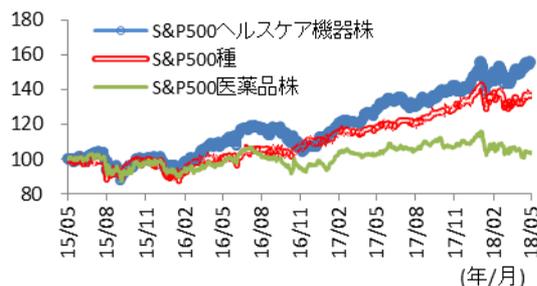
インテュイティブサージカル社は、「ダ・ヴィンチ」の製品名で知られる手術ロボットの世界的リーダーです。図表3は、同社の売上構成比を10年前と比較した表です。10年前は、売上げの半分以上が「ダ・ヴィンチ」システムの本体でした。しかし、現在はアームの先端に装着する付属品や、保守サービスの売上比率が70%以上を占めています。付属品や保守サービスの需要は定期的に発生するため、継続的な売上げが期待できます。「ダ・ヴィンチ」の納入台数に売上げが大きく左右された成長の初期段階から、付属品と保守サービスが牽引する安定的な成長段階へ移行したと考えられます。

図表1 S&P500種指数の業種別リターン上位下位2業種
(2018年4月25日～2018年5月25日、米ドルベース、トータルリターン)



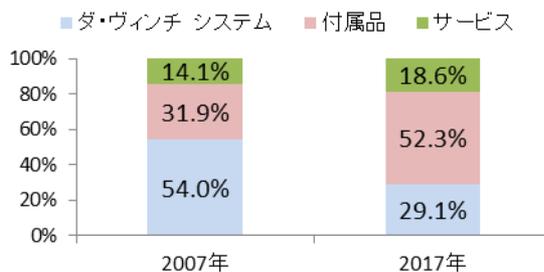
(注) 業種指数はS&P500エコノミック・セクター株指数を使用

図表2 S&P500種指数とヘルスケア機器株、医薬品株指数の推移
(2015年5月25日～2018年5月25日、日次、グロス配当、米ドルベース)



(注) 2015年5月25日を100として指数化
業種指数はS&P500産業グループ株指数を使用

図表3 インテュイティブサージカル社の売上構成比の推移



(出所) 図表1,2,3は、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

※本資料における銘柄紹介は、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年5月25日)



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額(円)	9,911
残存元本(口)	2,033,835,052
純資産(円)	2,015,680,420
実質株式組入比率(%)	91.8
現金比率(%)	8.2
組入銘柄数	65

■ 直近5期の分配金の推移

決算期	分配金(円)
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250
第5期(2017年6月26日)	550
第4期(2017年3月27日)	0

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
 ※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター			組入上位10銘柄			
順位	セクター名	比率	順位	銘柄名	セクター	比率
1	ソフトウェア・サービス	13.1%	1	ハリス	資本財	3.0%
2	資本財	12.8%	2	アドビシステムズ	ソフトウェア・サービス	2.8%
3	ヘルスケア機器・サービス	11.6%	3	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.8%
4	小売	9.5%	4	フォーティブ	資本財	2.7%
5	各種金融	8.2%	5	MSCI	各種金融	2.7%
6	公益事業	5.1%	6	アルファベット	ソフトウェア・サービス	2.5%
7	エネルギー	5.0%	7	ネクステラ・エナジー	公益事業	2.5%
8	銀行	4.9%	8	シェブロン	エネルギー	2.4%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.1%	9	S&Pグローバル	各種金融	2.4%
10	保険	3.9%	10	ビザ	ソフトウェア・サービス	2.3%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、当初方針に沿って、金利上昇が追い風となる金融株を買い付けました。また、業績が良好だった小売株とエネルギー株の買付けを行いました。一方、原材料価格の上昇が懸念される生活必需品株と資本財株の一部を売却しました。

当面の米国株式市場は、上下にもみ合いの展開を予想します。6月12～13日(現地時間)に開催される米連邦公開市場委員会(FOMC)において政策金利の引き上げが予想されており、6月上旬は動き難い展開になると考えます。FOMCを無難に通過した場合は、月末にかけてはじり高の動きになると予想します。

当面の運用につきましては、金利の上昇に加えて規制緩和による株主還元拡大が期待できる金融株の買付けを行う方針です。一方、生活必需品株と資本財株は、売却を検討します。

以上
(作成:運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
 追加型投信／海外／株式

2018年5月30日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)